

I 農業と地域社会のために全力を尽くす

自己改革ロードマップ

重点施策	目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署
	平成30年度進捗状況					平成30年度進捗状況					
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
1 需要に応じた契約生産と麦の品種転換	需要に応じた契約生産に向け、麦の品質や生産性向上を図れる品種への転換を行います。	計画	H30年播 ファイバースノウ50t(70ha)			収量が安定しており、加工がしやすいファイバースノウ(小粒大麦)への品種転換をすすめます。	H30年播 切替準備				H31年産栽培ガイドラインを策定
		実績	30年産 収量見込 26t	-				面積 取りまとめ中	100ha		
		計画	H30年播 中国165号420t(170ha)			多収で製粉性に優れている中国165号(小麦)への品種転換をすすめます。	H30年播 八幡東支店で170ha				・H31年産栽培ガイドラインを策定 ・研修会を開催
		実績	30年産 収量見込 34t	-				面積 取りまとめ中	196ha		
2 実需との契約に基づく生産・販売の提案	実需との複数者契約をすすめます。	計画	500t			JA出資法人連絡協議会に対して提案します。	25経営体と契約				農産販売促進課 施設管理課 営農振興課
		実績	254t	264t				23経営体 申込み	24経営体 と契約		
		計画	500t			実需者・JA・生産者等との複数者契約を提案します。	販売先確保				
		実績	254t	264t				RPによる 声かけ推進	出荷状況 の確認		
3 環境こだわり米のスタンダード化と特別栽培米の生産振興	環境こだわり米から実需者の要望に沿った特別栽培米へと生産販売の順次転換を図ります。	計画	統一版特別栽培米へ順次転換			実需者ごとの栽培指針(生産計画)を策定します。	栽培指導				・栽培ガイドラインを策定 ・栽培指導として、水稻現地検討会を開催
		実績	H30年産米 作付中	実施				雑草対策運 動を展開	指導		
		計画	特別栽培米生産面積2,500ha			統一農薬を使用した特別栽培米の指導をします。	栽培指導・面積拡大				栽培指導として、水稻現地検討会を開催
		実績	統一版 1,270ha	統一版 1,271ha				2部会で 栽培	2部会で 栽培		
4 再生協議会等の生産目標に沿った産米生産と戦略作物の本作化推進	水田活用ビジョンに基づく戦略作物の本作化に取り組みます。	計画	新たな生産目標に沿った需要に応じた生産の定着			需要に応じた米生産となるよう、地域別や再生協議会と連携した指導を行います。	実施				秋期農談会の開催を検討
		実績	周知	周知				実施	実施		
		計画	30年産小麦2,000ha			水田活用米穀による取り組み、実需に応じた麦の品種転換、白大豆の生産振興をします。	麦の新施肥体系拡大				・新施肥体系をガイドラインに採用 ・びわほなみ作付者を対象とした研修会を開催
		実績	29年産 2,037ha	-				収穫	30年産 の検証		
		計画	ことゆたかA1号の拡大			飼料用米480t(粉換算)	大豆収量向上に向けた肥料「黒ひかり」を提案				台風、長雨の影響で作付不良があり、豪雨対策支援事業を提案
		実績	4件 5ha作付	4件 5ha作付				提案	提案		
		計画	飼料用米480t(粉換算)			飼料用米専用肥料の推進 多収性品種「吟おうみ」の提案	畜産農家の需要量確保に向けた調整				水稻現地検討会を開催
		実績	30年産 収穫見込 432t	30年産 収穫見込 432t				18経営体 35ha作付	18経営体 35ha作付		
		計画	WCS用稲1,300ロール(JA流通分) 稲わらサイレージ700ロール			畜産農家の需要量確保に向けた調整	畜産農家の需要量確保に向けた調整				＜WCS用稲の作付＞ 生育状況の確認を行い収穫適期の予測から、(株)グリーンサポート楽農による収穫作業を始めた。
		実績	JA流通分 WCS用稲 1,009ロー ール	JA流通分 WCS用稲 1,009ロー ール				7軒10ha 作付	7軒10ha 作付		
＜畜産農家への供給＞ ・収穫数量から畜産農家と供給数量の調整を行った。											

I 農業と地域社会のために全力を尽くす

自己改革ロードマップ

重点施策	目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署	
	平成30年度進捗状況					平成30年度進捗状況						
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
5 TACの増強と経済渉外担当者の設置、営農指導員の明確化	経済渉外担当者を配置します。	計画	14名			専門知識をもった職員が農家組合員のお宅を訪問し、商品情報の提供や提案によってJAへの信頼と絆を深めることができるよう取り組みます。	訪問件数8,400軒				<訪問活動> ・水稲雑草対策運動・水稲生育診断として圃場を巡回し、中後期除草剤、ケイ酸加里、肥え切れの圃場に穂肥をお勧めした。 ・30年秋用家庭菜園肥料農業を推進 ・米の集荷・検査により計画していた訪問件数が廻れなかったが、出荷していただいた農家の方へ声掛け運動をした。	支店営農経済課 生産資材課 燃料生活課 営農振興課 特産課 企画管理課 人事課
		実績	14名	14名				1,783軒	3,186軒 (+1,403軒)			
	営農指導員と位置づけて配置をします。	計画	営農経済店舗に有資格者配置			支店担当者を明確化し、支店窓口での指導相談や農業電子図書館(情報端末タッチパネル)の活用、訪問による営農指導をします。	スキルアップ研修年6回				・経済渉外担当者・支店営農経済担当者のスキルアップ研修会を実施(1回) ・信用渉外担当者、経済渉外担当者、TACが事業間で連携し訪問活動ができるよう会議を開催(1回)	
		実績	配置	配置				2回	1回			
	TACを増員し支援活動を展開いたします。	計画	11名			各部門の研修会に参加し、産地づくりや農業振興、農業生産の拡大に取り組みます。	特産の生産振興や所得増大				8月 県内JAの女性営農指導員及び女性TACが集まるミーティングに5名が参加。営農指導の現状と課題を共有し、活動な活発につなげる。	
		実績	11名	11名				収穫機による 労力の削減	生産振興			
		計画				担い手政策の対応に加え、大型農家への対応としてコスト低減・増収技術・省力化の提案、水稲育苗ハウスの有効活用等の提案を行います。	のべ訪問軒数7,300軒 のべ訪問回数11,200軒				水稲多収品種、ほしじるし、HBとうごう3号について提案。また、ハイブリットとうごう3号の収穫適期判断の研修会を開催	
		実績						のべ1165軒 訪問回数 1905軒	のべ2258軒 訪問回数 3,649軒			
6 総合ポイント制度の導入	組合員メリットを明確化し魅力ある組合員制度となるよう総合ポイント制度を導入します。	計画	-			制度構築に向けたプロジェクトでの検討と内容周知をします。	組合員アンケート、加入促進運動と共に周知・募集開始				次の時代のJAを議論する「ネクスト会議」で今後の事業の見直しや協同組合力の発揮といった観点で検討。JAグループ滋賀役職員集会の議案検討における地域の組織再編等を踏まえ、実施に向けた検討を重ねる。	
		実績	-	-	-		-	検討	検討			
7 農業用融資や農業リスクに関する保障の提案	TACと連携し農業資金に対する融資やご相談をさせていただきます。	計画	融資取扱件数150件			農業金融プランナー資格の取得をすすめます。	55名				台風被害に伴う緊急支援対策資金の取扱いを開始し、農業資金の支援を行った。 新規実行件数/117件 新規実行金額/598,351千円	
		実績	68件	117件				職員周知	職員周知			
	農業リスク診断活動による点検をいたします。	計画	診断・提案取扱件数70件			農業リスクへの備えについて農談会等で案内します。	農談会・会議等で提案				TACによる診断結果に基づき、各支店で保障提案活動を実施。 診断トータル件数105件 /うち前年度提案件数24件 うち今年度提案件数40件	
		実績	診断2件 提案40件	診断4件 提案53件				職員研修会 開催	秋期農談会資料にて、リスク診断のPR活動			
										広報誌「ぐりんぴ〜す」にて共済渉外担当者を掲載し紹介。	共済普及課	

I 農業と地域社会のために全力を尽くす

自己改革ロードマップ

重点施策	目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署		
	平成30年度進捗状況					平成30年度進捗状況							
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
8 JAグループが一体となった農業・地域支援	全共連による「地域・農業活性化積立金」を活用した農業・地域支援を行います。	計画	19,000千円			「地域・農業活性化積立金」を活用した農業・地域支援を行います。	黒大豆選別機、玉ねぎピッカー、 獣害対策支援他				・導入した玉葱ピッカーを活用し、作業の効率化に向けて支援。 ・黒大豆選別機更新導入に向け手配。	営農事業部、畜産事業部、経済事業部、共済事業部、管理部	
		実績	-	1,800千円				導入・準備	導入				
	JAバンクの新規就農応援事業による助成を行います。	計画	3件以上			新規就農者を応援するため「JAバンクアグリ・エコサポート基金」の活用を提案します。	周知・提案				9件で申請済み	営農振興課 特産課 信用事業部	
		実績	9件	9件				周知	受付				
	信連の農業設備投資支援事業を活用します。	計画	40,700千円			農業機械等の導入支援を行います。	実施				・加工キャベツの円滑な定植作業を支援するため、乗用半自動移植機を導入。 ・八日市地域で今後玉ねぎの作付けが増えることから、みのる社製移植機の導入を進める。その関連でみのる社製セルトレイを導入。9月20日にJA東能登川で約600枚を播種。	営農事業部、信用事業部、管理部	
実績		23,544千円	25,111千円				色彩選別機導入(2施設)	野菜移植機・玉ねぎセルトレイを導入					
JA全農しがと一体となった農家組合員の所得増大プロジェクトで支援します。	計画	取り組み継続			農家組合員の所得増大プロジェクトで支援します。	継続実施				玉ねぎの収穫作業機械化、多収性品種の比較、キャベツの多収について検証	営農事業部 経済事業部		
	実績	継続横展開	継続横展開				実施	実施					
会計記帳をJAグループが代行することで経営管理(経営分析・診断)のサポートをいたします。	計画	代行取扱件数50件			連合会が一体となって設置した担い手サポートセンターによる「農業経営管理支援事業」の活用を提案します。	青申会への事業周知・活用提案				・各地域で説明会を開催 ・八幡・竜王青申会で説明会を開催 ・法人2件、個人26件が利用。	営農振興課 支店営農経済課		
	実績	23件	28件				研修会開催	説明会開催					
9 情報提供	営農情報を発信します。 (農談会資料、栽培ガイドライン、地域農業戦略、TAC情報・TACブログ、各支店営農情報誌他)	計画	きてか～な通信年4回発行 インショップ通信年6回発行			きてか～な通信・インショップ通信を通じて、出荷者の皆さまに売り場情報を定期的にお届けします。また、商品管理について周知します。	情報発信				・インショップ通信/ 7月花卉類バーコードラベル変更について 8月お盆対応について 9月品質について注意喚起 ・きてか～な通信/発行準備中 (11月開催予定の秋祭りに関する内容)	営農事業部	
		実績	4月・6月発行	7月8月 9月発行				情報発信	情報発信				
		計画	メール配信毎日				きてか～なの出荷者の皆さまに当日の販売状況や販売予測等をメールで配信します。	情報発信					販売状況をはじめ、台風支援の内容など様々な情報を出荷者に配信
	実績	毎日配信	毎日配信			情報発信		情報発信					
	組合情報を発信します。 (広報誌ぐりんぴ～す、総代通信誌ささえ、ホームページ、きてか～なフェイスブック)	計画	TAC情報年20回発行 TACブログ随時更新			担い手農家に向けた情報誌「TAC情報」を通じて、季節に応じた情報提供や補助金申請についてご案内いたします。	情報発信				担い手農家に向けたメールマガジンを新たに開始		
		実績	ブログ更新	TAC情報 ブログ更新				情報発信	メールマガジン開始				
支店・地域情報を発信します。	計画	総代通信誌ささえ 年4回発行			農協をとりまく環境や組合の方針、各支店の状況、事業の進捗状況について発信します。	誌面の充実 SNSの活用				・広報誌ぐりんぴ～す:毎月発行 ・総代通信「ささえ」の発行(9月) ・ホームページ:随時更新 ・きてか～なFacebook:都度配信	総務組合員課 営農事業部		
	実績	6月発行	9月発行				発信	発信					
支店・地域情報を発信します。	計画	支店だより全支店年4回以上発行			各支店だよりを通じて、支店の取り組みや地域情報等より身近な情報発信をします。	誌面の充実				支店・地域情報を支店だよりで発信	各支店		
	実績	14支店発行	14支店発行				実施	実施					

I 農業と地域社会のために全力を尽くす

自己改革ロードマップ

重点施策	目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署	
	平成30年度進捗状況					平成30年度進捗状況						
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
政府による農協改革および自己改革の取り組み状況について情報を発信し、徹底した見える化に取り組みます。	計画	ロードマップに基づく進捗を検証				各事業計画に基づいた自己改革の取り組みが確実に実践できるよう進捗を管理・検証し、事業間の連携を図ります。	事業部ヒアリング年4回以上				平成30年度における自己改革の取り組み状況について、ロードマップをもとに進捗を検証。事業部へのヒアリングを実施し、進捗状況の詳細について把握。	改革推進室
	実績	実施	実施				-	実施				
	計画	総代懇談会での開示年2回				総代懇談会や各広報誌、ホームページを通じて、自己改革の取り組み状況について開示いたします。	情報発信				ホームページにて第1四半期における進捗状況を開示。総代通信誌「ささえ」と広報誌「ぐりんぴ〜す」で自己改革に関する記事を連載。	
	実績	開示	準備	(開示)								
	計画	広報誌での連載年12回					発信	発信				
	実績	3回掲載	6回掲載									
	計画	自己改革に関する全組合員アンケートの実施				JAグループが一体となった組合員アンケートの実施を通じて、自己改革の取り組み状況やJAの役割について情報を発信いたします。	訪問活動の展開				JA自己改革職員研修会を実施。JAの紹介と自己改革の取り組み状況をまとめた冊子「大切な組合員のあなたに、もっとJAを知ってもらいたいので作りました。」を発行し、組合員の皆さまのお宅を訪問して配布。	
	実績	準備	準備				準備	実施				

※WCSとは・・・ホールクroppサイレージの頭文字で、稲発酵粗飼料のこと。稲の実と茎葉を同時に収穫し発酵させた牛の飼料。

II 組合員の多様なニーズに応える事業方式への転換を加速化する

自己改革ロードマップ

重点施策	目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署
	平成30年度進捗状況					平成30年度					
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
1 特産の生産と担い手へのステップアップを支援	計画	取扱高 23,150千円				地域生産者と支店が連携し、企画します。	品目提案				支店営農経済課 特産課
						支店単位での生産者募集や品目別栽培講習会を開催し、販売先との商談や折衝をします。	実施				
	実績	1,072千円	4,027千円			市場研修の実施や支店担当者向け園芸講習会・研修会へ参加し職員の特産知識向上に取り組みます。	研修参加				
家庭菜園から直売所出荷農家へステップアップを支援します。	計画	きてか～な出荷者会員登録者数700名 平均委託率74%				園芸講座を開催します。	年6回				特産課
						園芸講座を開催します。	園芸講座 第2回(7/11)37名参加 「秋冬野菜の栽培管理について」 第3回(10/16)開催に向け準備(水口の朝日工業へ出向いて研修予定)				
	実績	686名 72.9%	693名 73.6%			県農産普及課と協力し、生産の少ない果樹の生産振興に取り組みます。	連携した指導				支店営農経済課 特産課

II 組合員の多様なニーズに応える事業方式への転換を加速化する

自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署				
		平成30年度進捗状況					平成30年度									
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期						
2	きてか～な・インショップ・地域直売所を通じた農畜産物の販売	有利販売で所得増大に取り組めます。	計画	きてか～な販売高680,000千円				家庭菜園から直売所出荷へのステップアップを図ります。	生産拡大を支援				園芸講座を開講し、直売所出荷者の拡大を図る。	特産課		
			実績	182,397千円	204,874千円				園芸講座	園芸講座						
			計画	インショップ販売高173,000千円				FM・インショップの端境期対策に取り組めます。また、こまめな情報提供で出荷を促します。	品目提案				インショップ通信にて、インショップの売れ筋ランキングや減りそうな品目を紹介し出荷を促した。			
			実績	38,230千円	39,772千円				情報提供	情報提供						
3	機械の導入による作付面積と収量の拡大	共同播種や野菜移植機等の貸し出しを行い生産振興を図ります。	計画	加工キャベツ生産面積 67ha 取扱高 110,000千円				貸出可能な特産機械の台数を拡大します。	13台保有				<ul style="list-style-type: none"> ・新たに加工キャベツの半自動定植機を1台導入。7/20～8/10まで共同播種を実施。(5,100枚)また900枚の苗管理を管内の認定農業者、農事組合法人に委託。 ・加工キャベツ定植用畝立成形機と定植機の貸出を開始。合計21.4ha利用していただいた。 ・9月20日～10月初旬に玉ねぎ共同播種として1,250枚播種。また810枚を苗管理として管内の農事組合法人等に委託。 	特産課 営農振興課		
			実績	面積取りまとめ中	申込面積 67ha				12台保有 (取得準備)	14台保有						
			計画	契約玉ねぎ 生産面積 8ha 取扱高 16,000千円					園芸機械のオペレーションを子会社である(株)グリーンサポート楽農へ委託し、作業受託による生産振興を行います。	作業受託面積80ha					<子会社での作業受託> 玉ねぎピッカー作業の受託面積は伸びなかった	
			実績	-	約7ha					作業受託 19.3ha	作業受託 19.4ha					
			計画	導入検討・面積拡大				(株)グリーンサポート楽農で園芸機械の導入検討と堆肥散布作業の面積拡大を図ります。	導入検討・面積拡大				<ul style="list-style-type: none"> ・玉ねぎ移植作業を(株)グリーンサポート楽農へ委託する方向で検討。 ・八日市地域で3法人が新たに取組まれた。 			
			実績	-	約7ha				導入検討・堆肥散布 0.1ha	堆肥散布 2.5ha						
4	JAグリーン近江の独自支援で生産を振興	担い手経営革新支援事業で新たなチャレンジを支援します。	計画	10,000千円				TACの渉外活動による情報収集と提案をします。	実施				計画を策定し提案中	営農振興課 特産課 支店営農経済課		
			実績	30件 7,700千円を計画	30件 7,700千円を提案				計画中	提案中						
			パイプハウス類設置支援事業で設置費用の一部を支援します。	計画	3,000千円				支店営農経済担当者やTAC、経済渉外担当者による提案をはじめ、広報誌等を通じて支援制度について広く周知・提案し、特産振興に向けた導入を助成します。	提案・導入助成				<ul style="list-style-type: none"> <台風被害対策支援> ・パイプハウス等施設被害復旧支援対策を開始。 ・廃プラ協議会、各市町と一体となり農業用使用済みプラスチックの回収を実施。(協議会補助により生産者負担なし) 	特産課	
				実績	-	申請なし										
			園芸用農業機械導入支援事業で導入費用の一部を支援します。	計画	2,000千円					周知						
				実績	-	4件受付					相談					

II 組合員の多様なニーズに応える事業方式への転換を加速化する

自己改革ロードマップ

重点施策			目標値				具体的な取り組み	取り組み進度				平成30年度 第2四半期	担当部署		
			平成30年度進捗状況					平成30年度							
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
5	集落・地域で取り組む野生鳥獣害対策への補完的支援	専門知識を活かし、集落等へのアドバイスや情報提供をします。	計画	農談会での情報提供年2回				事業部から推薦する研修会への参加を数値化し、専門知識の習得を促進します。	研修参加・新規資格取得1名 (獣害対策アドバイザー)				・獣害による農産物被害防止に対する支援事業について、広報誌ぐりんぴ〜ですで周知。 ・研修会に1名新規参加、1名継続参加	営農振興課 支店営農経済課	
			実績	周知	周知					参加予定	1名参加 1名継続 研修				
		支援助成事業で組織的な取り組みを支援します。(防護柵、檻の導入支援など)	計画	4組織総額800千円				農談会資料などで支援制度の周知・提案をします。	継続				5組織から申請があり、50万円の支援を予定		
			実績	-	5組織 申請					周知	受付中				
6	食味と品質向上のための技術普及	品質向上のための試験と普及に取り組みます。	計画	試験栽培				食味と品質向上のための営農指導充実と、新たな食味計を導入します。	食味向上の試験実施と食味に応じた集荷拡大				マグネシウム剤の試験を2件60aで調査中	営農振興課	
			実績	準備	実施					実証圃を 設置	2件60aで 実施				
7	食味値による米の区分集荷	プレミアム88、セレクトといった食味に応じた米集荷を充実いたします。	計画	みずかがみ作付面積 1,000ha				生産者の努力が報われる米の精算方法(加算金)を導入し、見える販売をします。プリップリ米コンクールの受賞米をきてか〜などで特別販売し、特別精算をいたします。	平成30年産特別栽培米コシヒカリでも食味に応じた集荷を開始				<みずかがみ> プレミアム88/120袋 セレクト/525袋 <コシヒカリ> プレミアム88/対象なし ・申込による品質分析と農産物検査員からの情報による良品質米をピックアップし、品質分析を実施。 ・水稲現地研修会で周知	営農振興課 農産販売促進課 施設管理課 支店営農経済課	
			実績	1,025ha	-										
			計画	みずかがみプレミアム88・みずかがみセレクト数量 100t											
			実績	-	19t					提案	集荷・ 品質分析				
8	畜産農家の生産・経営を支援	経営安定、規模拡大への相談対応や資金調達等を支援します。	計画	飼養頭数 和牛5,000頭				畜産農家と面談し、経営計画や規模拡大に向けた構想の確認や補助事業の活用、融資の提案をします。	相談・支援件数3件				<和牛> 遊休施設の活用相談 <F1> 畜産クラスター事業の要件整備と建設に向けた手続きの支援 <乳用牛> 畜産クラスター事業の要件整備と建設に向けた手続きの支援	畜産課 信用業務課	
			実績	前年度末 4,900頭	約5,080 頭										
			計画	飼養頭数 F1 1,650頭											
			実績	前年度末 1,600頭	約1,500 頭										
			計画	飼養頭数 乳用牛1,300頭											
			実績	前年度末 1,280頭	約1,240 頭					3施設相 談	3施設相談				
9	JAグリーン近江のブランド牛づくり	脂肪交雑に加えてプラスαの品質付加を図ります。	計画	(和牛) -				牛肉旨味成分の分析と、消費者と共に作り上げるJAグリーン近江のブランド基準を策定します。	試験開始				ブランドづくりに向け生産農家、関係機関と検討。 F1委員会で枝肉重量を検証し、肥育技術の改良(飼料等)を議論した。	畜産課	
			実績	内容検討	内容検討					内容検討	内容検討				
			計画	(F1) -											
			実績	内容検討	内容検討										
			計画	F1枝肉重量 平均540kg以上					付加価値づくりに向けた飼料設計と管理方法を構築します。	検証・修正					
			実績	平均 534kg	平均 540kg						成績検証	成績検 証・ 改良検討			

II 組合員の多様なニーズに応える事業方式への転換を加速化する

自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署		
		平成30年度進捗状況					平成30年度							
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
10	規模や経営体に応じた農業振興と有利販売	大きな需要にこたえる農業振興をいたします。	計画	JAグループが一体となった販売50%、ハイブリッドとうごう3号40ha 吟おうみ30ha			大規模・大ロット農業としての有利販売に取り組みます。多収性品種「ハイブリッドとうごう3号」、「吟おうみ」の作付を提案します。	多収性品種の提案作付				栽培研修会を実施	農産販売促進課 営農振興課	
			実績	HBとうごう 20ha 吟おうみ 35ha	HBとうごう 20ha 吟おうみ 35ha				研修会を 計画	作付中				
		小さな需要にこたえる農業振興をいたします。	計画	個別委託JA直売等50%、特別栽培米の結びつき契約販売			生産部会のガイドラインの使用資材を統一化し、特別栽培米としての有利販売に取り組みます。	栽培基準の統一2部会				・平成31年産米の栽培ガイドラインを決定	営農振興課 農産販売促進課	
	実績	-	-			2部会		2部会						
	計画	玄米販売・直売所販売及びニッチ市場370t			自然栽培や有機JAS、無農薬等、小規模農家ならではの実需者の要望にこたわった小ロット・希少農業によって有利販売につなげます。	地域消費者への販売ニッチ市場の情報収集と生産現場の環境調査による結びつき				平成30年産米の作柄状況について、全農・実需と共に圃場を巡回し確認。	農産販売促進課 施設管理課 特産課			
	実績	-	-				情報収集	情報交換						
11	JA買取り、早期精算、共同計算のえらべる精算	品種や用途に応じた精算方法を選択可能にすることで販売数量を確保します。	計画	米穀取扱額 49億円 産米集荷数量71万袋			精算方法の選択を提案します。	みずかがみの地場・施設出荷米の年度内精算実施				・H30年産米概算金額は、29年産に比べ400円～1,000円高で設定し農家組合員の所得増大を実現。 ・みずかがみは奨励金を含めた概算金1等の単価を13,300円とし、29年産から1,000円高で設定。今後の生産拡大を図る。 ・ライスプランナーによる集荷状況の把握と職員による庭先集荷の強化	農産販売促進課 施設管理課	
			実績	出荷契約 69.5万袋	9月末集荷状況 40.7万袋				RPによる 分析と声 かけ	庭先集荷 の強化・集 荷状況の 把握				
				(契約の厳格化、転作率の増加による減少)			各支店にライスプランナーを配置し、ニーズに合った対応と豊富な情報提供により需要に応じた契約生産販売を実現します。	営農指導を中心とした訪問活動						
計画	管内流通販売6,000t			直売所や学校給食等を中心とした管内流通で有利販売に取り組みます。	継続販売と新たな販売先への提案				<学校給食落札状況> (H30年度下期分) 近江八幡市:特裁コシ1等 38,740kg 東近江市:特裁コシ1等74,400kg 竜王町:特裁コシ1等7,400kg	農産販売促進課 施設管理課 特産課				
実績	-	-				管内4市町 の学校給食 に供給(上 期)	下期学校 給食の入札 参加と直売 所への新米 出荷							
12	管内流通販売と管外流通販売を区分した米の販売	生産者から実需者まで契約を交わした「見える販売先」の取り組みを強化します。	計画	管外流通販売7,000t			業務用途米や複数者契約米、輸出米等、JAグループが一体となった管外流通で有利販売に取り組みます。	系統連携、販売先確保				<みずかがみバックご飯> 台湾に加え上海での販売を開始 9月末販売実績/26,244個	農産販売促進課 施設管理課	
			実績	-	-				全農・実需 との情報交 換	情報交換 と圃場巡 回				
			計画	管内流通販売6,000t			米・麦共通肥料、全国・地域銘柄への集約を推進します。	3品目取扱				<共通肥料> 31年産米・麦のガイドライン作成に当たり、全国統一肥料の「一般高度化成444」・「NK化成20号」、とグリーン近江として土づくり肥料「ふりかけ堆肥エコー」を取り入れ、3品目を提案。	・31年産米・麦の生産資材申込期日を厳格化し、早期一括仕入れを行うことで価格抑制に努めた。	生産資材課
実績	-	-			3品目	3品目								
13	生産資材価格の引き下げに向けた仕入の改善	資材品目の集約や仕入先の拡充・交渉力強化によって仕入価格を引き下げます。	計画	集約銘柄を中心に価格抑制			米・麦共通肥料、全国・地域銘柄への集約を推進します。	3品目取扱				<共通肥料> 31年産米・麦のガイドライン作成に当たり、全国統一肥料の「一般高度化成444」・「NK化成20号」、とグリーン近江として土づくり肥料「ふりかけ堆肥エコー」を取り入れ、3品目を提案。	・31年産米・麦の生産資材申込期日を厳格化し、早期一括仕入れを行うことで価格抑制に努めた。	生産資材課
			実績	実施	実施				実施	実施				
			計画	新規開拓2社			県内外を問わず、価格・品質・物流ニーズにあった新たな取引先との取引により仕入価格の引き下げを実現します。	市場調査年4回				・肥料の価格改定があり、市場調査を実施。 ・低価格保有米袋を提案。	・新たに肥料メーカー、鶏糞業者、苗、種子取り扱い会社の3者と契約を結び、価格抑制に努めた。	生産資材課
			実績	1社	3社				1回	1回				
計画	新規開拓2社			県内外を問わず、価格・品質・物流ニーズにあった新たな取引先との取引により仕入価格の引き下げを実現します。	交渉力強化				・新たに肥料メーカー、鶏糞業者、苗、種子取り扱い会社の3者と契約を結び、価格抑制に努めた。	生産資材課				
実績	1社	3社				実施	実施							

II 組合員の多様なニーズに応える事業方式への転換を加速化する

自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署	
		平成30年度進捗状況					平成30年度						
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
14	一括仕入れによる物流コストの抑制	購買倉庫・物流にかかる経費を抑制します。	計画	基準値より0.8%抑制(768千円)				計画策定、実施				大豆防除剤を配送 ・30年産米紙袋を配送	生産資材課
			実績	削減目標 192千円 削減実績 358千円 計画対比 186.4%	削減目標 384千円 削減実績 2千円 計画対比 0.52%					実施	実施		
15	作物共通資材、高成分肥料、大型規格商品の提案	所得増大プロジェクトによる提案と新たな取り組みを検討します。	計画	プロジェクトの継続取り組み、横展開(拡充)				これまでの提案・技術等を広く普及				研修会の実施	生産資材課 営農振興課 特産課
			計画	プロジェクトの継続取り組み、横展開(拡充)				業務用米の増収を目的に、多収性品種による多肥栽培技術について検証します。(第6弾)					
			計画	プロジェクトの継続取り組み、横展開(拡充)				加工向けキャベツの品質・収量の向上と省力技術を検証します。(第9弾)				試験区を設け、元肥一発肥料と緩効性肥料の比較試験。当地域での生育状況を検証中。	
			計画	プロジェクトの継続取り組み、横展開(拡充)				加工向け玉ねぎの品質・収量の向上と省力技術を検証します。(第10弾)				7月に出荷ピークを迎えたが、品質が思わしくなく小玉傾向だった。最終の試験収量は検証中。	
			計画	プロジェクトの継続取り組み、横展開(拡充)				所得増大に向けた新たな取り組みをJA全農しがと共に検討し、実施します。				研修会で周知	
			実績	継続実施	継続実施			横展開中	展開中				
			計画	高成分省力化商品の供給6,500袋、共通肥料の供給7,100袋(元肥・追肥3,500袋、穂肥3,600袋)				省力化・コスト低減を目的に、高窒素肥料を提案いたします。(「これいいね」15kg袋)				・31年産米生産資材申込書で「これいいね」15kgを提案。	
15	高成分省力化・価格抑制商品を取り扱います。	高成分省力化・価格抑制商品を取り扱います。	計画	高成分省力化商品の供給6,500袋、共通肥料の供給7,100袋(元肥・追肥3,500袋、穂肥3,600袋)				米・麦共通肥料として全国集約銘柄の「一般高度化成444」・「NK-C20号」を採用し、コスト抑制を提案します。				<共通肥料> 31年産米・麦の申込書に、全国統一肥料の「一般高度化成444」・「NK化成20号」を提案。	生産資材課
			計画	高成分省力化商品の供給6,500袋、共通肥料の供給7,100袋(元肥・追肥3,500袋、穂肥3,600袋)				超大型規格農薬商品を拡充し、コスト低減を提案します。				<提案品目> 31年産米生産資材申込書で提案。 ・ジェイフレンド1キロ粒剤40kg ・デルタアタック1キロ粒剤40kg ・トップガンGT1キロ粒剤5140kg ・ガンガン1キロ粒剤 40kg	
			実績	(H30年産米)高成分省力化商品 9,741袋 共通肥料 13,984袋	提案開始					取扱なし	取扱なし		

自己改革ロードマップ

Ⅲ JAの業務執行体制を強化する

重点施策			目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署	
			平成30年度進捗状況					平成30年度進捗状況						
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
1	農協法改正に伴う次期役員体制の検討	検討内容について組織決定いたします。	計画	定款変更等の総代会附議				農協法改正に伴い、次期役員体制検討委員会にて次期役員体制を検討します。	答申内容に基づく定款等の見直し				滋賀県知事より認可を受け平成30年9月6日付で改正。	総務組合員課
			実績	総代会附議・承認	-				見直し案を上程	県認可				
2	公認会計士監査の移行に向けた体制づくり	公認会計士監査に対応できる体制を確立します。	計画	準備				経済事業等の内部統制による整備をすすめます。	実施				内部統制の運用を開始し、中央会期中監査において実施したウォークスルーで「気づき」と「発見」箇所の修正を行い、「業務記述書と業務フロー」を各支店へ配布。	リスク統括部
			実績	「業務フロー兼、業務記述書」の完成	内部統制運用開始				「業務フロー兼、業務記述書」の完成	内部統制運用開始				

IV 担い手の育成を強化する

重点施策	目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署	
	平成30年度進捗状況					平成30年度進捗状況						
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
1 TAC、経済渉外担当者等の渉外活動を通じた提案・支援・指導	集落営農の法人化を支援します。	計画	130法人			TACが法人化を支援します。(県普及員、市町担当、専門家、JAが連携)	実施				県、市町と共に担い手不在集落への組織化を検討。現在法人化に向け取り組まれている集落はない。	営農振興課
	実績	130法人	130法人				実施	実施				
	担い手への提案と支援をします。	計画	法人経営の高度化を支援			県と連携した経営改善指導をします。また、中央会の記帳代行事業による経営指導を行います。	記帳代行50件				・9月内野営農組合が米・大豆・小麦・大麦・マンゴーでGGAPを取得 ・農業法人のアジアGAP認証取得に向けてTACが指導・支援中。	特産課 営農振興課
	実績	支援	支援				法人2件 個人21件	法人2件 個人26件				
	TAC・支店担当者が連携し、経営の複合化に向けた提案をします。	計画	土地利用型品目の提案とパイプハウスの活用を提案			水田を活用した園芸特産を提案します。	TAC活動				<土地利用型品目の提案> ・八日市南支店管内の集落営農法人4経営体が玉葱を作付(計120a) ・新規法人5経営体が加工キャベツを作付。 <パイプハウスの有効活用> ・八幡西支店管内の集落営農法人に中輪菊を提案。3,920本を出荷。 ・安土支店管内の新規就農者が中輪菊4,650本を出荷。	特産課 営農振興課
	実績	集落営農法人への提案	集落営農法人への提案				実施	提案・作付				
JAグリーン近江出資法人連絡協議会を通じて、人・物・技術における法人間の連携を支援します。	計画	6地域			それぞれが抱える課題について、法人同士で協力・連携が図れるよう地域別や課題別に法人間の連携をすすめます。また、JA役職員との意見交換会を開催します。	総会、地域代表委員会、意見交換会の開催				11月に県議会議員との意見交換会を開催できるよう検討中。	営農振興課 支店営農経済課	
実績	6地域	6地域				意見交換会開催	役員会を開催					
地域に応じた担い手グループづくりの設立を提案します。	計画	6地域			地域に応じた協議会等のグループづくりを提案し、設置後も支援します。(法人連絡協議会等の立ち上げ支援)	設立への提案				計画しているが地域での動きが出てこない	営農振興課 支店営農経済課	
実績	6地域	6地域				ニーズ調査と提案	-					
経済渉外担当者が担い手ニーズに合った生産資材の提案と指導をいたします。	計画	生産資材供給高100,000千円			担い手ニーズに対応した専用規格品を提案します。(BB肥料は統一特別栽培米とならないためH30年産から導入見送り)	大型規格農薬480件、超大型規格農薬25件				31年産米生産資材申込書で、大型規格農薬・超大型規格農薬を提案	支店営農経済課 営農振興課 特産課	
実績	39,089千円	64,072千円				大型1,003件 超大型18件	提案開始					
2 子会社(株)グリーンサポート楽農による担い手と連携した作業の受託	地域の担い手や法人等と協力関係を築き、農作業受託のグループ体制を構築します。	計画	連携拡大			JA主催の意見交換会や各種訪問活動を通じて担い手農業者や法人等との交流を深めます。 水稲受託作業を中心に堆肥散布作業の拡大と園芸機械の導入を検討し、農作業の受託面積拡大を図ります。	情報収集・情報提供				担い手と連携し、再委託の上作業を行う	営農振興課
	実績	連携中	連携中				情報収集	情報収集				
						作業受託面積80ha						
						19.3ha	36.2ha					

V 協同組合活動をすすめるための人材育成と組合員の関係づくりを強化する
自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署				
		平成30年度進捗状況					平成30年度進捗状況									
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期						
1	農家の健全経営に向けた指導ができる人材の育成	営農指導員資格の取得を推進します。	計画	1級28名				営農・経済・畜産部門における未取得者の受験を必須化します。	支店担当者の未取得者のリストアップ・指名受験				<営農指導員資格1級> 今年度受験者なし <営農指導員資格2級> 今年度6名受験予定	営農事業部 畜産事業部 経済事業部 支店営農経済課		
			実績	24名	23名											
			計画	2級85名												
			実績	81名	80名											
		JA全国専門畜産経営診断士資格の取得を推進します。	計画	新規取得1名以上				研修会・講習会への参加と、職場内での経験者を軸とした技術研鑽により資格取得と職員のレベルアップに取り組みます。	研修会参加				研修会に参加し受験	畜産課		
			実績	1名受験申請	1名受験				参加申請	参加						
		農業金融プランナー資格の取得を推進します。	計画	資格取得者55名				農業融資実務者を中心に資格取得をすすめます。	研修会開催				農業融資試験対策研修会に9名が参加。10月と2月に受験予定	信用事業部		
			実績	-	既取得者数43名				-	研修会参加						
		保険募集人資格の取得を推進します。	計画	資格取得者110名				農業リスクに対する保障の提案活動ができるよう、各支店共済課長、共済渉外担当者、窓口担当者の資格取得を必須化します。	取得必須				農業リスクに対する保障提案ができるよう担当者の取得を必須化。新たに13名が合格。	共済普及課		
			実績	資格取得者97名(期首)	資格取得者110名	資格取得者115名	-		準備・申請	受験19名合格13名	受験予定者8名	-				
		2	トータル人事制度の構築	能力開発や人材育成に重点を置いた人事制度となるよう見直します。	計画	確定・周知				外部コンサルタントと共に新制度の設計に向け検討し、移行します。	調整・移行				新人事制度への移行作業を実施中	人事課
					実績	確定・周知	-				研修会実施	調整・移行				
3	組合員の皆様との徹底した話し合い	人・農地プランづくりや農地集積のサポート、地域や組織、集落に応じた農談会・座談会を開催し、地域農業の未来のために徹底した話し合いを行います。	計画	人農地プラン125プラン				地域営農ビジョンづくりや人・農地プランづくりをサポートします。(推進は行政が主体)	集落や組織への出向く活動				人農地プランについては一定の実績が積み上がり、営農ビジョンを新しく策定される集落が少なくなった。農地集積は、中間管理機構へ集積が進んでいるが、条件不利地については引き受け手が見つからないケースがあり、集積率の伸びは鈍化している。	支店営農経済課		
			実績	124プラン	124プラン											
			計画	農地集積4,500ha												
			実績	3,324ha	3,324ha											
		支店別総代懇談会の活性化に取り組みます。	計画	水稻穂肥時期、秋期、春期開催				地域に応じた農談会となるよう独自資料を作成します。また要望に応じた説明会形式にも対応します。	全支店で独自資料作成				・水稻現地研修会を実施 ・秋期農談会の実施を検討	総務組合員課		
			実績	計画	実施				実施	実施						
		支店別総代懇談会の活性化に取り組みます。	計画	総代懇談会出席率77%				事業報告を中心とした開催形式から意見交換を中心とした運営形式へ変更します。	実施・検証				下期支店別総代懇談会の開催に向けて検討	総務組合員課		
			実績	67.40%	-				実施	-						

V 協同組合活動をすすめるための人材育成と組合員の関係づくりを強化する

自己改革ロードマップ

重点施策		目標値				具体的な取り組み	取り組み進捗				平成30年度 第2四半期	担当部署		
		平成30年度進捗状況					平成30年度進捗状況							
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
4	組合員組織の活性化を支援	各生産部会や年金友の会、青年部、女性部等組合員組織への加入を推進します。	計画	各支店、地域での生産部会員・きてか〜な出荷者会員の増加				各生産部会員やTAC、経済渉外担当者、支店営農経済担当者、支店担当者による声かけをします。	各渉外活動での声かけ				各支店地域で独自の園芸講座を開催し、直売所への出荷を誘導。きてか〜な出荷者会員数は693名となり、期首から新たに7名増加。	支店営農経済課 営農振興課 特産課
			実績	686名	693名			きてか〜な出荷者大会を開催します。	年1回					
			計画	年金友の会会員16,800名				魅力ある年金友の会活動とPRをします。	新たな活動の検討・渉外活動や支店での声かけ				友の会メンバーが協賛店舗で割引や特典が受けられる「YOUとぴあくらぶ」の会員証を配布し、仲間づくりに努めた。	信用推進課
			実績	16,621名 (+208名)	16,752名 (+339名)				実施					
			計画	青年部員38名				魅力ある青年部活動とPRをします。	実施				青年部ときてか〜なが協力し、消費者交流イベントを開催。ポップコーン豆とかぼちゃの収穫体験を実施。	営農振興課
			実績	25名	25名				イベント開催	実施				
			計画	女性部会員1,920名				魅力ある女性部活動と個人会員からグループ会員や支部会員への変更を働きかけます。	支部員680名				会員数1,831名(16名減少) 支部員698名(42名増加) グループ会員124名(31名減少) 個人会員 1009名(27名減少)	総務組合員課
			実績	1,859名	1,831名				627名	698名				
									グループ会員200名					
									153名	124名				